

『簿記』における視聴覚教材の活用

～NHK 高校講座『簿記』を利用した授業を通して～

茨城県立竜ヶ崎第二高等学校教諭 高山 雅子

1 はじめに

高校商業科に入学した生徒たちが授業で初めて学ぶ専門科目の一つ、それが『簿記』です。そこで教員は、生徒たちにスムーズに学習の導入ができるよう、科目のねらいに沿いながら、教材を選んで授業スケジュールを立て、効率のかつ生徒の理解度に合わせた授業を展開していきます。また、検定試験に向けた学習にも配慮しなければなりません。

普通高校出身の私は、大学の商学部へ入学し、1年の授業で初めて簿記の基礎を学びました。3年になり、商業科の教員になると決めた際、ゼミの教授の強い勧めで日商簿記2級合格に向けての自主学習を徹底して行いました。その後、県の採用試験に合格し、簿記を教える立場となりました。それが、商業科の教員としてスタートラインに立った1年目でした。

高校生が簿記を学ぶというイメージも経験もないまま、教科書と指導書で要点をまとめ、問題集での記帳練習にどうつなげるか、先輩の先生に教えていただきながら、授業を実践しました。それでも、ベテランの先生のような指導は到底できず、どういった授業展開にしたらいいか、常に悩んでいました。授業では、生徒に教えながらも、生徒と学び合い、ともに理解し合っただうにか1年間のカリキュラムを終えることができました。その当時から、痛切に「あったらいいのに」と思い続けていたのが、一定レベルの指導水準を確保できるような教材、また、生徒の学習意欲をスムーズに高めることができるような、授業に沿った画期的な視聴覚教材でした。教員を続けて20年が過ぎ、ようやくそんな画期的な教材に出会いました。それが、NHK 高校講座『簿記』です。

2 NHK 高校講座『簿記』の魅力

(1) オープニングソングでのチャンツ学習

かつて私が英語学習にはまっていた際、気に入っていたのが、文や単語を一定のリズムに乗せて歌うチャンツ（Chants）による学習です。NHK 高校講座『簿記』のオープニングソングは、各回のはじめに必ず流れます。簿記の五大要素で決算を目指せと歌うそれが生徒の耳に残り、生徒にとってはよいチャンツ学習になります。回を重ねると、オープニングソングを歌いながら教室に入ってくる生徒の姿がありました。

(2) 信頼できる教材・教科書に沿った番組構成で授業への活用も容易に

NHK 高校講座『簿記』は通信制の高校生を対象として作られています。通信制では、授業時間以外で効率的に学べるよう視聴覚教材を活用します。そのために作られたこの教材は、映像学習としての完成度がとても高く、生徒を飽きさせない工夫が各所に散りばめられています。「さかっち商店」という店を舞台に、店長と二人の店員、簿記インストラクターで繰り返される簿記の学びは全20回。簿記の基礎から、取引の記帳、決算まで一連の流れが教科書に沿っており、毎回20分という時間設定のため、全日制においても授業の中で無理なく活用することができます。私自身も小・中・高とNHKの教育番組で学習してきたからか、NHKの教材なら、という他にない安心感・安全感があります。また、横浜市立横浜商業高校の粕谷和生先生という、現役の商業科の先生が監修を担当されているため、信頼をおいて活用できる教材だと感じました。

(3) 「見る」・「読む」・「演習」の3ステップ活用

◎ステップ1：「見る」

この学習を行うにあたっては、インターネットも活用できるよう、パソコンやタブレットのある教室

を利用します。授業展開としては、導入時に学習の要点を確認したあと、用意した動画を全員で視聴します。動画教材は、展開がストーリー仕立てになっているので、ところどころ出演者のやり取りに感情移入しながら、動画に引き込まれていく様子がうかがえます。

◎ステップ2：「文字と画像で見る」

視聴後、NHK 高校講座の Web サイトにある『簿記』のページから、「文字と画像で見る」のページを開き、動画の内容を文字と写真で確認します。このことで、視聴した動画の内容と、学習単元の全体像が理解できます。

◎ステップ3：「演習」

NHK 高校講座『簿記』のサイトには、「学習メモ」として、監修の粕谷先生による学習要点や実践演習が PDF 教材としてまとめられています。また、実教出版の Web サイトから、動画に沿ったワークシートと解答がダウンロードできます。教員にとっては、毎日の業務の中で、授業の自作プリントを毎回作成する時間が持てない中で、これらを活用できるのはとても助かります。また、生徒にとっても、動画に沿った内容のため、学習への理解を深める手立てとなります。また、動画視聴後にこの演習を行うという流れを作ることで、生徒たちは自ずと動画を真剣に視聴するようになります。

(4) 予習・復習としての活用

先に述べましたが、この動画は、通信制の高校生向けに作られた教材です。インターネットにつながる環境があれば、NHK 高校講座のサイトから家庭でも繰り返し視聴することができます。授業を継続して行っていく中で、教員が宿題にせずつも、自分自身の理解を深めたいという目的で、家庭学習に動画視聴を自ら取り入れる生徒たちが現れてきました。このことは、高校講座が、全日制の高校生でも、家庭学習での予習や復習に活用できる教材であるということを示していると考えます。

3 生徒たちの声

簿記の導入学習として NHK 高校講座『簿記』を活用した授業を終え、生徒たちに活用の感想を聞きました。

- 勘定科目がすぐに覚えられて、問題が解けるようになった。
- いろいろな簿記の語句や簿記のやり方についての映像は、わかりやすくて面白かった。視聴した後は、簿記のわからなかったところが理解できるようになった。
- NHK 講座を見て、その時の映像が頭に残り、今でも覚えられている。
- わかりやすかった。オープニングの曲もたまたま歌うくらい覚えやすい。
- 文字だけでなく、映像で分かりやすく説明があったので、とてもよかった。覚えにくい勘定が覚えやすく工夫をされていたので、視聴する前と比べるとだんぜんによくなっていた。また視聴したいと思う。
- 映像で実際問題を解いているところを見て、私が思った疑問と同じ疑問を質問していたりして、出演者と一緒に考えることができた。
- 内容が簡潔でわかりやすかった。視聴する前はそこまで内容に対して期待していなかったが、内容が余分な部分なく収められており、復習部分もとてもわかりやすかった。
- 20 分ほどの映像でも私たちが間違えそうところや押さえておきたい内容を丁寧に教えてくれたものだったのがよかった。問題集や教科書だけでは、実際にどうすればよいか掴みづらかったので、分かりやすく見ることができた。

4 おわりに

教育課程によってそれぞれの学校の商業科が有する科目数は異なりますが、商業科教員は、マーケティング、ビジネス経済、会計、ビジネス情報と、多岐にわたる分野の科目を担当することになります。様々な科目の教材研究を行う中で、こういった視聴覚教材があることは、教員にとって、授業の質を一定水準に保つことにもつながります。また、視聴覚教材の活用で、生徒の理解も深まります。まず良質な教材を活用する、そこから新たに独自の授業展開を生み出すというスタイルで多様な学びが実現できたらと考えます。その時々生徒の実態に合った教材の活用を、今後も続けていこうと思います。